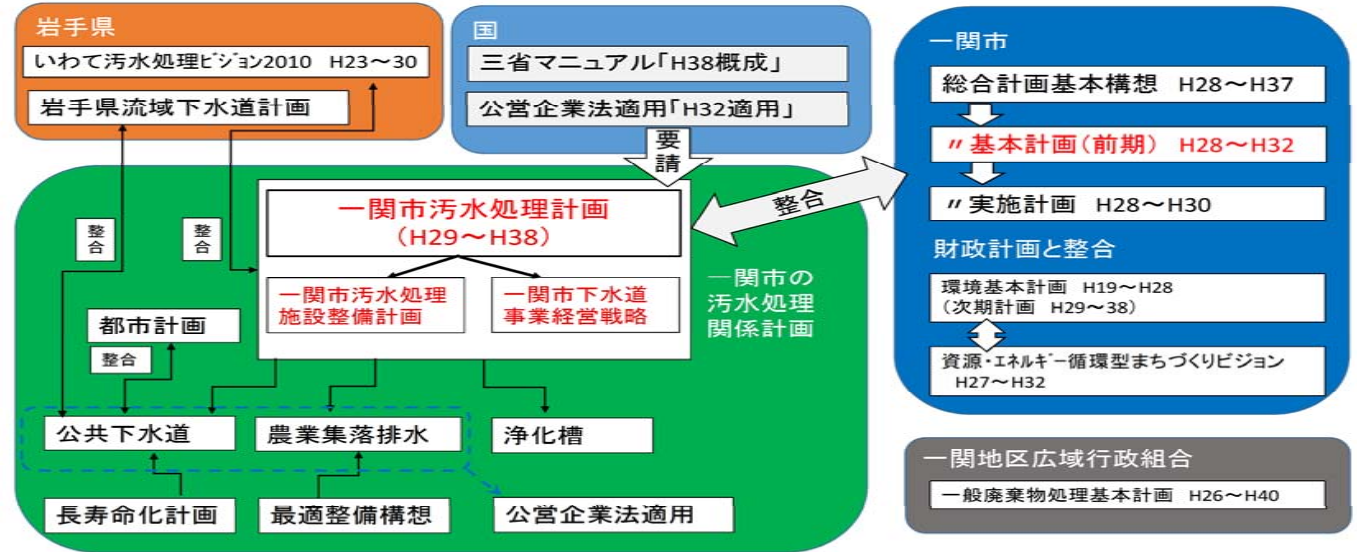


【一関市汚水処理計画(概要)】

【汚水処理の現状と課題】

- 1 河川水質の改善**
汚水処理施設の整備が進まない流域は河川水質が悪い傾向
 ・・・・水質改善のため早急な整備
- 2 下水道整備の推進と浄化槽の普及**
汚水処理施設の整備が進まない
 ・・・・効率的な整備の推進
水洗化が進まない
 ・・・・市民への啓発、制度の充実
- 3 汚水処理施設の維持管理**
施設の劣化、老朽化の進行
地下水や雨水など不明水の流入
 ・・・・計画的な修繕、改築、更新
- 4 災害への備え**
 ・・・・耐震化の推進
 ・・・・緊急時の体制整備
- 5 経営改善の取り組み**
人口減少で使用料収入の減少
施設の修繕や更新需要が増加
 ・・・・施設管理の効率化、組織の見直し
- 6 下水道資源の有効利用**
下水道資源の有効活用
 ・・・・総合的な有効活用の検討

一関市汚水処理計画の位置づけ



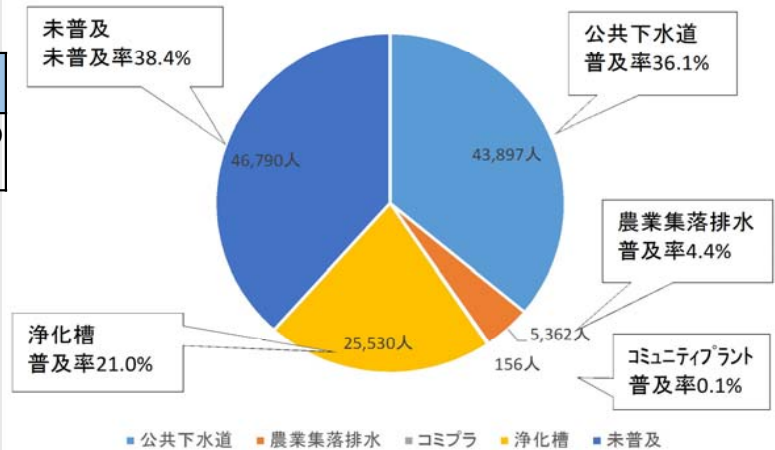
■ 平成27年度末の汚水処理人口普及率

全国	岩手県	一関市	備考
89.9%	79.0%	61.6%	岩手県内14市のうち11番目です。

■ 平成27年度末の水洗化人口割合

岩手県	一関市	備考
71.1%	52.2%	岩手県内14市のうち、12番目です。

H27末汚水処理人口普及率



一関市総合計画のまちづくり目標

郷土の恵みを未来へ引き継ぐ自然豊かなまち

『環境』

水環境と自然環境を市民一人ひとりが守る

『快適』

市民が衛生的で快適な生活を送る

『持続』

市民が安心して使用できる汚水処理を持続する

一関市汚水処理計画の「3つの将来像」

【将来像の実現に向けての取組み】 計画期間 H29～H38

1 汚水処理施設の早期概成

・・・H38年度末の概成を目指した公共下水道、農業集落排水、浄化槽の3つの事業推進、効率的な整備手法へ見直し

2 公共下水道等への早期接続と浄化槽の設置

・・・関係機関と連携した普及活動や広報等を通じた市民周知、支援施策の充実

3 計画的な汚水処理施設の更新と災害に強い基盤づくり

・・・効率的かつ適正な管理手法の検討、施設の耐震化、緊急時の体制整備

4 効率的で安定した経営

・・・経営戦略の策定や組織体制の見直し、使用料の適正化の検討

5 下水道資源の有効活用の推進

・・・汚泥等の下水道資源の有効活用、一関市資源・エネルギー循環型まちづくりビジョンと総合的な調整

■ 施策目標 汚水処理人口普及率 単位：%

指標	現状(H27)	中間目標(H32)	目標(H38)	目標の設定
汚水処理人口普及率	61.6	73.0	84.2	22.6ポイントアップを目指します。

■ 施策目標 水洗化人口割合 単位：%

指標	現状(H27)	中間目標(H32)	目標(H38)	目標の設定
水洗化人口割合	52.2	63.1	75.5	23.3ポイントアップを目指します。

一 関市汚水処理計画の策定について(経過)

1 一関市下水道事業等経営審議会へ諮問(平成27年12月7日)

一関市の汚水処理に係る基本方針を定めるため、一関市汚水処理計画の策定について諮問。

2 一関市下水道事業等経営審議会の開催

(1) 開催回数 計5回開催 (平成27年12月7日、平成28年3月11日、同年6月10日、同年10月20日、同年11月25日)

(2) 主な意見

項目	内容
意見	公共下水道について未接続者に接続を強力に推進すべきだ。そのために強力な下水道接続キャンペーンをした方がよい。ただし、押しつけではなく、市民の意識改革、啓発をした方がよい。
意見	次世代に豊かな自然環境を保全するためには、下水道への接続や、浄化槽の設置を進めることを啓発し、理解を得て、協力をしてもらうようにすべきである
意見	地域のみならず地球規模で環境保全が必要なことなども、重要な視点となる。大局的な視点で啓発にあたってもよいと思う。
意見	計画の大筋はそのとおりだと思うが、現実問題として普及率を上げないと計画通りには進まない。環境をきれいに保たなければならないということを一般市民に理解してもらわないといけないし、広報などの啓発がないと理解を得られないと思う。工事費や維持管理費がかかるため、交付金や補助金が見込めないとすると使用料で賄うしかない。まず啓発活動をして、費用を賄えるように使用料の値上げもやむを得ないと思う。

3 答申

○ 答申(平成28年11月25日)

次の意見が付され答申。

【意見】 この答申は、豊かな自然環境の保全、特に河川等公共用水域の水質を保全し、市民が衛生的で快適な生活を送れるようにするため、また、下水道等の汚水処理を安定して持続するため、当審議会において活発な議論を重ね、慎重に審議し、まとめたものです。

一関市汚水処理計画の策定に当たっては、この答申が最大限に尊重されることを期待します。

なお、本計画に掲げる将来像の実現のために、策定後の本計画を広く市民に周知するとともに、その実現に当たっては、今後の社会経済情勢の動向に留意しながら柔軟性を持って、取り組まれるよう要望します。

4 パブリックコメントの実施

- 募集期間 平成28年12月19日(月)～平成29年1月13日(金)
- 閲覧場所 一関市役所下水道課、市民の室、各支所建設水道課、各市民センター、市ホームページ
- 意見等 なし

5 行政区長からの意見等

- 行政区長452人に、概要版を直接送付(配付)して意見等を求めた。(提出期限平成29年1月13日(金))
- 回答者数 83人(特になしを除くと79人(行政区長全体の17.4%)。電話での回答(意見なし)の人数は含まない。)
- 意見等延べ数 235件(うち計画に関すること68件)
- 主な意見等(計画に関する意見)

項目	内容
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我々生活をしていく上で最も大切な部分だと思しますので早期に進めて行くことが必要だと思います。3つの将来像は市民一人一人が認識していくために市民への周知は大切な事だと思います。 ・ 計画(案)は妥当だと思います。いかに実施するかという計画が大事だと思います。 ・ 今迄の普及率の数字からみて現実味のある計画案に。
フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一関市の汚水処理計画について、計画の概要が示され大変よいと思った。特にPDCAサイクルによるフォローアップ機能を掲げきめ細かに実施することは、財源の確かな運用につながると思う。税の無駄を無くし有効に執行することになる。一つ一つを精査し次につなげるのが寛容かと。
早期概成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画区域との関連もあるかと思いますが、未着工区域の下水道全体計画の見直しも必要かと思えます。
早期接続・浄化槽普及	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県内汚水処理人口普及率79%に対し一関市では61%と比較しても低い水準となっている。下水道の推進及び浄化槽の普及のため支援制度の充実への市民への啓発が必要です。 ・ 人口減少、財政の厳しい中、大変でしょうが、河川水質の改善のため計画を実施してほしい。 ・ 人類にとって身近な問題と思えます。10年間の計画ですが、人類にとって解決すべきことです。
施設更新等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理施設の耐震、老朽の対応が心配される。
経営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心豊かで住みよいまちづくりには常に予算(お金)が不可欠であり、今後はバブルのような時代は考えられない。人々が永久的にいつの時代になっても住みよさを保つには試行錯誤のビジョンと行政を一方向的に攻める市民であってはいけない。行政も市民も共に協議や懇談をしながら計画的に汚水処理の現状と課題を克服する必要がある。 ・ 人口、世帯が疎らな地区に於いて下水道を整備するよりも浄化槽の設置を優先することで事業者、利用者に掛かる費用が下水道を整備するより少なく経済的と考える。
資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚水、汚泥の無毒有効利用も長期計画の中で御検討していると思えますが、一般市民への啓発も工夫あれば環境美化にも、もっともっと良くなるでしょう。